

夏休み特別企画を実施しました

愛知・名古屋 戦争に関する資料館（以下「資料館」という。）では、戦争体験を次世代に伝え、平和の大切さを学んでいただくため、夏休み特別企画を行っています。

今年は、8月6日から8月23日にかけて、小中高生などを対象に「戦争体験談を聞く会」（全8回）、一般の方向けに「原爆被災体験を聞く会」（1回）と「専門家による特別講座」（全2回）を実施し、たくさんの方々にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。

資料館では、今後も戦争について学んでいただける企画を用意してまいりますので、展示見学と合わせて、ぜひお越しください。

戦争体験談を聞く会

「戦争体験談を聞く会」では、戦争を実際に経験した方や、戦争体験談を引き継ぐ語り手からお話を伺いました。その後、館内で戦争に関する実物資料を見学し、参加者の皆さまに戦争について考えていただきました。

正直、直接の体験者でなく、語り継ぎの方からのお話はどうだろう、リアルさがあまりないんじゃないかと心配でしたが、歴史等もわかりやすく、ちゃんとした資料も読み込まれているようで、詳細を知ることができた。

すばらしいお話をきかせていただきありがたく思います。この話を学校の友だちにつたえたいと思いました。自由研究でもお話をしたいと思いました。

語り継ぎの内容だけでなく、補足知識の説明や語り手の野村さんの平和への思いも伺えて大変ありがたかったです。ありがとうございました。



体験談を聞くのは初めてだったので、とても新鮮で興味深いお話だったと感じました。教科書だけでは知れないことがたくさんあり、このような場があることをいろんな人に知っていただけたらいいなと思いました。



貴重な話が聞けてよかったです。ありがとうございました。



原爆被災体験を聞く会

「原爆被災体験を聞く会」では、広島に原爆が投下された日にあたる8月6日に被災者の方に体験談を語っていただきました。

貴重なお話をきく機会をいただきありがとうございます。戦争について知るはじめての時でした。つないでいきたいと思います。

8/6の日に、お話を伺うことができ、感謝です。貴重な体験を話して下さり、状況が浮かぶように聞いていました。4才という幼い頃の体験を話していただきました。痛みとか感じないようにふたしてきたということばにも納得できました。



このような貴重な体験を聞くことができ、とてもよかったです。

専門家による特別講座

「専門家による特別講座」では、資料館の運営・展示に日ごろから御助言いただいている2名の専門家の先生方に、「眠れる不発弾は何を語りかけているのか」、「『航空機名古屋』の実態」のテーマで、この地域の戦争について講演していただきました。

焼夷弾について詳しく知ることができました。ありがとうございました。

眠れる不発弾は 何を語りかけているのか

2025年8月7日 愛知・名古屋戦争に関する資料館 夏休み講座
資料館アドバイザー 西形久司 (東海中学・高校非常勤講師)

中身が具体的でよく理解できました。
目からウロコで、不発弾に関して見識が広まりました。

航空機と名古屋の関係が良く分かりました。三菱だけでなく愛知時計電機のはたした役割が理解できました。紡績工場が、航空機工場へ転用されるのは繊維産業にとっては大きな痛手となったと思います。

名古屋が航空機産業の重要な拠点であることを初めて知り、大変勉強になりました。

専門的分野からの話が聞け、大変良かった。